

第 3 京都指標

第3 京都指標

京都指標とは

京都府では、「明日の京都」に掲げた約 400 の施策指標の達成が「府民のしあわせの実感」という「明日の京都」の本質的な目標にかなっているか、府政運営の方向性が府民意識とかけ離れたものになっていないかなどについて点検するために、府民の意識や満足感なども取り入れた「京都指標」を設定している。

この京都指標は、「統計データ(44 項目)」と「京都府民の意識調査(38 項目)」で構成しており、その概況等は次のとおりである。

なお、京都指標は、「心の豊かさ」や「満足度」といった主観的な側面を持つ指標であるため、遠い未来にわたって確定的なものを設定することは困難であることから、社会情勢や府民意識の変化等を考慮しながら、その都度、柔軟に見直すこととしている。

○ 統計データ（44 項目）の平均全国順位

対象データの全国順位の平均から算出

| | (指標数) | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 |
|----------|-------|---------|---------|---------|
| 府民安心の再構築 | (27) | 25 位 | 26 位 | 26 位 |
| 地域共生の実現 | (6) | 25 位 | 20 位 | 18 位 |
| 京都力の発揮 | (11) | 9 位 | 7 位 | 9 位 |
| | | 21 位 | 20 位 | 21 位 |

○ 京都府民の意識調査（38 項目）の平均値

「明日の京都」で目指す社会の状況により近い選択肢を選んだ人の割合の平均から算出

| | (指標数) | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 |
|---------------|-------|---------|---------|---------|
| 府民安心の再構築 | (17) | 60% | 59% | 59% |
| 地域共生の実現 | (10) | 55% | 55% | 53% |
| 京都力の発揮 | (8) | 55% | 54% | 53% |
| ※体系外の 3 指標を含む | | 58% | 57% | 57% |

○統計データ

| | 項目 | 単位 | 2016年(度) | | 2017年(度) | | 備考 | |
|----|---------------------|---|----------|---------|----------|---------|----------------------------|----------------------------|
| | | | (A) | 順位 | (B) | 順位 | | |
| 1 | 府民 安心の 再構築 | 合計特殊出生率 | 人 | 1.34 | 44 | 1.31 | 44 | (B) 2017年概数 |
| 2 | | 児童虐待相談対応件数 (人口10万人当たり) | 件 | 80.6 | 35 | 103.9 | 38 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 3 | | いじめの認知件数 (児童・生徒1,000人当たり) | 件 | 92.0 | 47 | 96.8 | 47 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 4 | | 暴力行為の発生件数(小・中・高等学校) (児童・生徒1,000人当たり) | 件 | 7.5 | 44 | 7.7 | 43 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 5 | | 刑法犯少年検挙人員 (少年人口1,000人当たり) | 人 | 4.5 | 33 | 4.0 | 36 | |
| 6 | | 不登校児童・生徒数(小・中学校) (児童・生徒1,000人当たり) | 人 | 12.5 | 24 | 13.2 | 28 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 7 | | 大学・短期大学等への進学率 | % | 66.2 | 1 | 65.9 | 1 | (B) 2017年速報値 |
| 8 | | 全国学力・学習状況調査 平均正答率 (各科目平均値) (小学校) | % | 65.50 | 11 | 65.75 | 11 | |
| | | 全国学力・学習状況調査 平均正答率 (各科目平均値) (中学校) | % | 62.75 | 17 | 66.50 | 14 | |
| 9 | | 学校の授業時間以外の勉強時間が1日当 たり30分に満たない小学生の割合 | % | 14.2 | 41 | 13.3 | 43 | |
| 10 | | 学校の授業時間以外の勉強時間が1日当 たり30分に満たない中学生の割合 | % | 21.2 | 46 | 18.5 | 45 | |
| 11 | | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(小学生)(男子) | 点 | 53.21 | 35 | 53.52 | 36 | |
| | | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(小学生)(女子) | 点 | 54.09 | 40 | 54.31 | 42 | |
| 12 | | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(中学生)(男子) | 点 | 41.64 | 32 | 41.71 | 34 | |
| | | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(中学生)(女子) | 点 | 49.27 | 28 | 49.24 | 36 | |
| 13 | | 高等学校を中退した生徒の割合 (中途退学率) | % | 1.2 | 11 | 1.0 | 6 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 14 | | 完全失業率 | % | 3.1 | 33 | 2.7 | 31 | |
| 15 | | 有効求人倍率 | 倍 | 1.35 | 23 | 1.53 | 23 | |
| 16 | | 障害者雇用率 | % | 2.02 | 21 | 2.07 | 21 | |
| 17 | | 一人当たり医療費 | 円 | 339,173 | 26 | 337,775 | 25 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 18 | | 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉 士の登録者数(人口10万人当たり) | 人 | 1,546.1 | 27 | 1,617.2 | 27 | |
| 19 | 平均救急搬送時間 | 分 | 32.6 | 6 | 32.4 | 5 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 | |
| 20 | 国民健康保険料収納率 | % | 93.80 | 8 | 93.98 | 11 | (A) 2015年実績 (B) 2016年速報 | |
| 21 | 生活保護人数(人口1,000人当たり) | 人 | 22.9 | 41 | 22.5 | 41 | | |

| | 項目 | 単位 | 2016年(度) | | 2017年(度) | | 備考 | |
|----------------|--------------------------------------|-------------------------------|------------------------|---------|----------|---------|----------------------------|----------------------------|
| | | | (A) | 順位 | (B) | 順位 | | |
| 22 | 第1号被保険者(65歳以上)の要介護等認定者割合 | % | 19.49 | 36 | 19.72 | 37 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 | |
| 23 | 希望者全員が65歳以上まで働ける企業割合 | % | 76.8 | 20 | 77.7 | 23 | | |
| 24 | 自主防災組織の活動カバー率 | % | 89.6 | 17 | 90.6 | 15 | | |
| 25 | 火災出火件数(人口10万人当たり) | 件 | 20.9 | 2 | 21.4 | 5 | | |
| 26 | 交通事故死傷者数(人口10万人当たり) | 人 | 373.8 | 15 | 330.7 | 13 | | |
| 27 | 自殺死亡率(人口10万人当たり) | 人 | 15.3 | 5 | 14.2 | 4 | | |
| 28 | 地域共生の実現 | 人権侵犯事件数(人口10万人当たり) | 件 | 24.8 | 36 | 18.9 | 24 | |
| 29 | | 認証NPO法人数(人口10万人当たり) | 法人 | 52.8 | 4 | 53.0 | 4 | |
| 30 | | 認定NPO法人数 | 法人 | 32 | 8 | 34 | 8 | |
| 31 | | ドメスティック・バイオレンス相談件数(人口10万人当たり) | 件 | 216.0 | 46 | 206.3 | 46 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 32 | | 年平均所定外労働時間(事業所規模5人以上) | 時間 | 10.4 | 15 | 10.1 | 10 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 33 | | 住民基本台帳人口移動報告転入超過数 | 人 | -750 | 11 | -1,662 | 18 | |
| 34 | | 京都市力の発揮 | 大学・短期大学の学生数(人口10万人当たり) | 人 | 6,422 | 1 | 6,413 | 1 |
| 35 | 留学生数(人口10万人当たり) | | 人 | 405.10 | 2 | 431.67 | 2 | |
| 36 | 府民総生産当たりエネルギー消費量(最終エネルギー消費量/実質府民総生産) | | GJ/百万円 | 23.3 | 3 | 22.1 | 3 | (A) 2014年実績 (B) 2015年実績 |
| 37 | 世界遺産登録件数 | | 件 | 16 | 3 | 16 | 3 | |
| 38 | 国民体育大会の成績 | | 位 | 12 | 12 | 11 | 11 | |
| 39 | 特許出願件数(人口10万人当たり) | | 件 | 354.20 | 4 | 415.28 | 2 | |
| 40 | 外国人延べ宿泊者数(人口1,000人当たり) | | 人 | 1,593.1 | 2 | 1,802.7 | 2 | |
| 41 | 農業産出額維持率 | | % | 8.45 | 5 | 2.92 | 39 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 42 | 道路改良率 | | % | 57.6 | 34 | 57.8 | 34 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 |
| 43 | 出国率(出国者数/総人口) | | % | 14.88 | 6 | 15.80 | 5 | |
| 44 | 国際会議の参加者数(人口10万人当たり) | 人 | 6,280.8 | 1 | 8,556.9 | 1 | (A) 2015年実績 (B) 2016年実績 | |
| 全 44 項目 (平均順位) | | | 20位 | | 21位 | | | |

○京都市民の意識調査

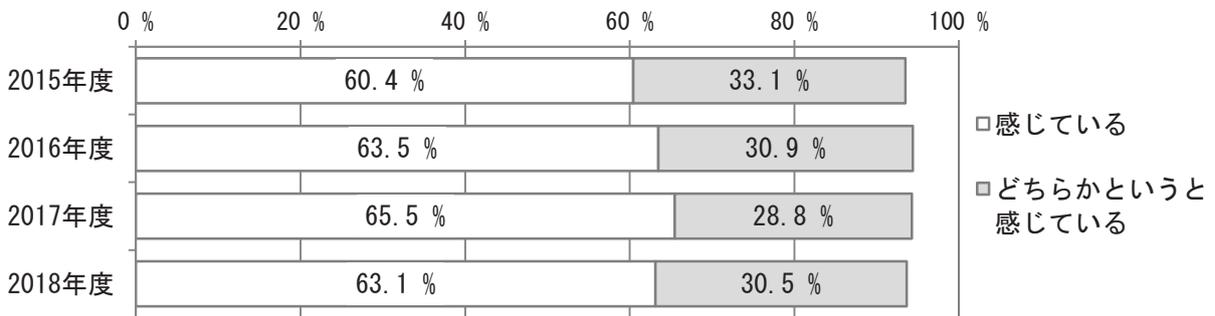
(単位：%)

| 質 問 項 目 | | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 |
|---------|---|------------|------------|------------|
| 1 | 府民 安心の 再構築 | 94 | 94 | 94 |
| 2 | 子育てに喜びややりがいを感じている親の割合 | 82 | 82 | 83 |
| 3 | 子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合 | 82 | 76 | 79 |
| 4 | 住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合 | 80 | 79 | 82 |
| 5 | 子どもが、将来に夢を持っていると思う親の割合 | 32 | 33 | 30 |
| 6 | 子どもの有無にかかわらず、子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもに関する活動に参画している人の割合 | 44 | 43 | 44 |
| 7 | キャリアアップや趣味に関する生涯学習等に取り組んでいる人の割合 | 75 | 75 | 75 |
| 8 | 仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合 | 82 | 79 | 81 |
| 9 | 希望する「働き方」（正社員、派遣社員、パート、アルバイト、自営など）で働くことができていない人の割合 | 71 | 69 | 71 |
| 10 | 規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合 | 62 | 63 | 63 |
| 11 | 病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合 | 73 | 72 | 71 |
| 12 | 住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段（電車、バス等）が十分に整っていると思う人の割合 | 17 | 18 | 18 |
| 13 | 障害のある人とない人がともに交流したり、活動する場に参加している人の割合 | 60 | 59 | 59 |
| 14 | 趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合 | 46 | 49 | 49 |
| 15 | 家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合 | 57 | 56 | 54 |
| 16 | 住んでいる地域は、高齢（者）になっても暮らしやすい体制（医療、福祉のほか社会生活全般）が十分に整っていると思う人の割合 | 29 | 27 | 25 |
| 17 | 地域の防犯、防災、交通安全活動などに取り組んでいる人の割合 | 30 | 32 | 29 |
| 18 | 地震や大雨などによる災害に備えて、避難場所の確認や非常持ち出し品の備蓄などを行っている人の割合 | 85 | 86 | 85 |
| 19 | 地域共生の実現 | 99 | 99 | 98 |
| 20 | 日々の生活の中で、身体の状態、性別、その他について、差別、虐待、誹謗中傷などにより不快な思いをしたことのない人の割合 | 30 | 30 | 31 |
| 21 | この1年の間にインターネット（フェイスブックやツイッターなど）によって、いじめ、誹謗中傷をされたことのない人の割合 | 11 | 11 | 10 |
| 22 | 地域さまざまな課題に対応する団体（自治会、NPOなど）の活動に参画している人の割合 | 49 | 50 | 46 |
| 22 | 府や市町村の実施する府民協働の取組や、事業提案・パブリックコメントに対する意見提出など、行政のさまざまな取組に何らかの形で参画している人の割合 | 49 | 50 | 46 |
| 22 | 困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合 | | | |

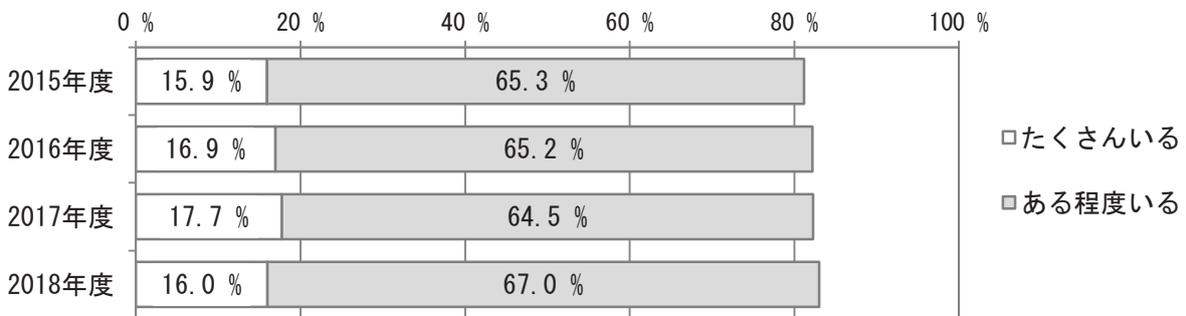
| 質 問 項 目 | | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | |
|---------------|--|--|------------|------------|----|
| 23 | 住んでいる地域に、にぎわいや活気があると思う人の割合 | 43 | 42 | 42 | |
| 24 | 地域の祭りや伝統行事などに参画している人の割合 | 44 | 47 | 42 | |
| 25 | 今の社会（家庭・職場・地域社会などのさまざまな場）は、性別によってやりたいことが制限されていると思わない人の割合 | 59 | 59 | 57 | |
| 26 | 住んでいる地域（市町村）について、個性や魅力を感じている人の割合 | 54 | 54 | 54 | |
| 27 | 住んでいる地域に、社会生活を送るのに必要な基盤（学校、病院、買い物の場、就業の場などや公共交通機関）が十分に整っていると思う人の割合 | 74 | 72 | 69 | |
| 28 | 京 都 力 の 発 揮 | 仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合 | 53 | 51 | 53 |
| 29 | | 住んでいる地域（市町村）が優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合 | 75 | 69 | 73 |
| 30 | | 節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合 | 65 | 66 | 65 |
| 31 | | 住んでいる地域で、地域の文化・芸術活動が活発に行われていると思う人の割合 | 49 | 45 | 45 |
| 32 | | 京都府では歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合 | 82 | 81 | 81 |
| 33 | | 明治以来初めての省庁移転として、文化庁の京都への早期移転を実現することが東京一極集中の是正や日本の文化振興の一助になると思う人の割合 | 67 | 69 | 65 |
| 34 | | 西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼などの伝統工芸品を日常生活で使っている人の割合 | 28 | 30 | 28 |
| 35 | | 外国人の友人や留学生との交流がある人の割合 | 17 | 17 | 16 |
| 36 | 将来かなえたい夢や実現したい目標がある人の割合 | 60 | 59 | 58 | |
| 37 | これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合 | 92 | 91 | 91 | |
| 38 | 住んでいる地域の環境が、以前に比べてよくなってきていると思う人の割合 | 37 | 38 | 40 | |
| 全 38 項 目 (平均) | | 58% | 57% | 57% | |

京都府民の意識調査結果＜経年比較＞

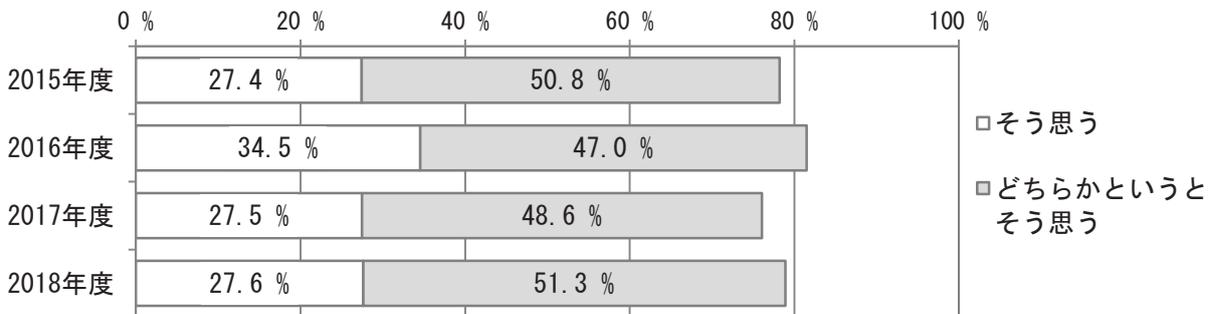
[問 1] 子育てに喜びややりがいを感じている親の割合（「子育てをしていない」を除く。）



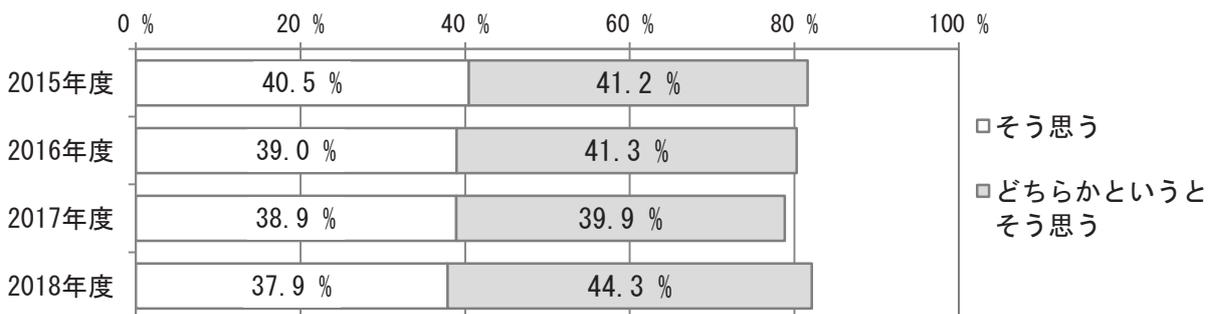
[問 2] 子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合（「子育てをしていない」を除く。）



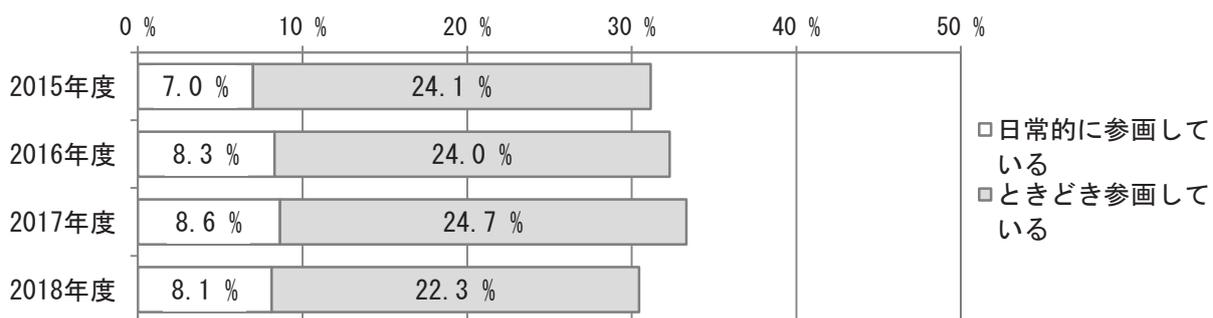
[問 3] 住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合



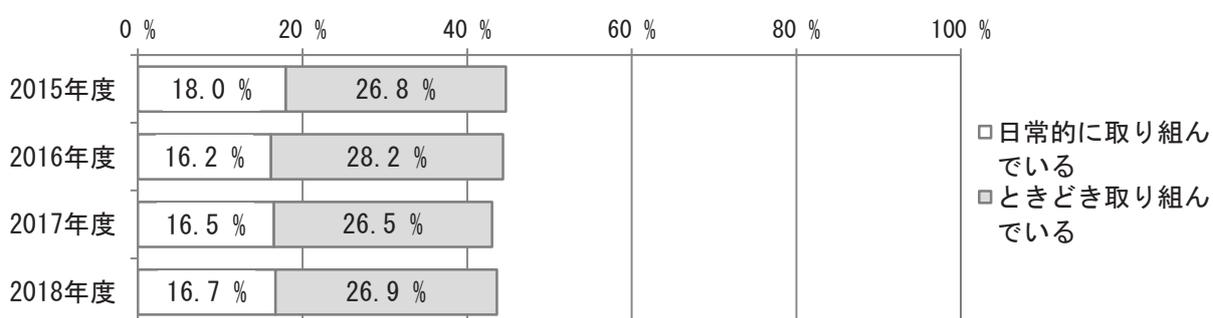
[問 4] 子どもが、将来に夢を持っていると思う親の割合（「子どもはいない・乳幼児である・成人している」を除く。）



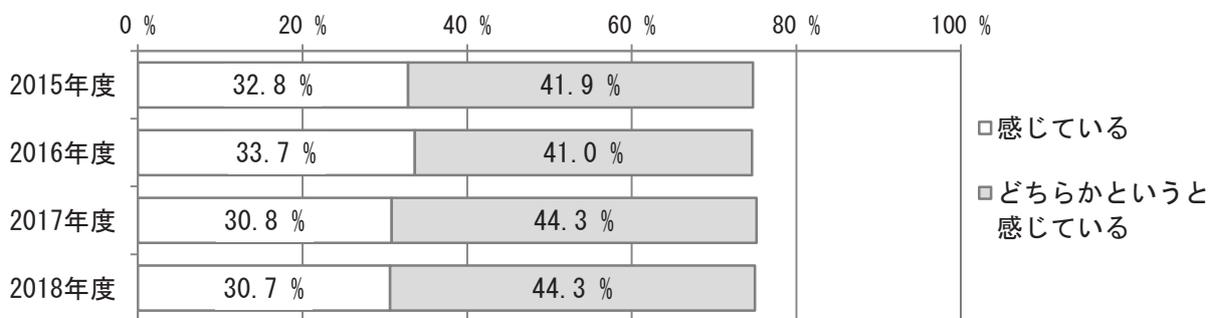
[問5] 子どもの有無にかかわらず、子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもに関する活動に参加している人の割合



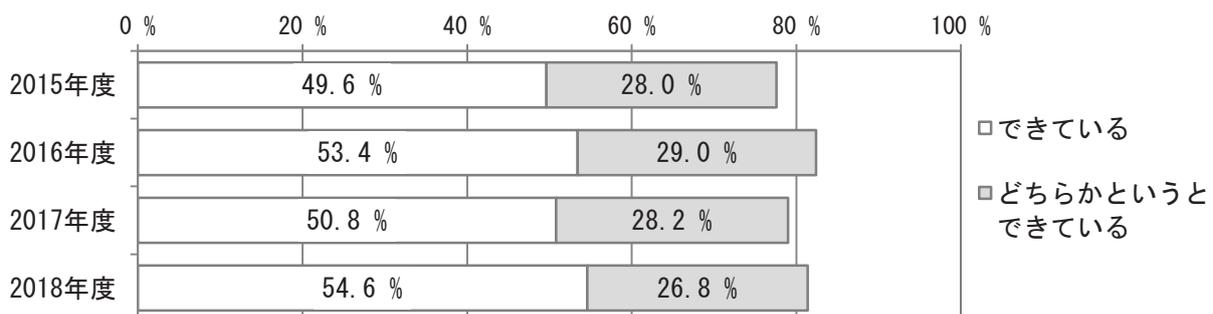
[問6] キャリアアップや趣味に関する生涯学習等に取り組んでいる人の割合



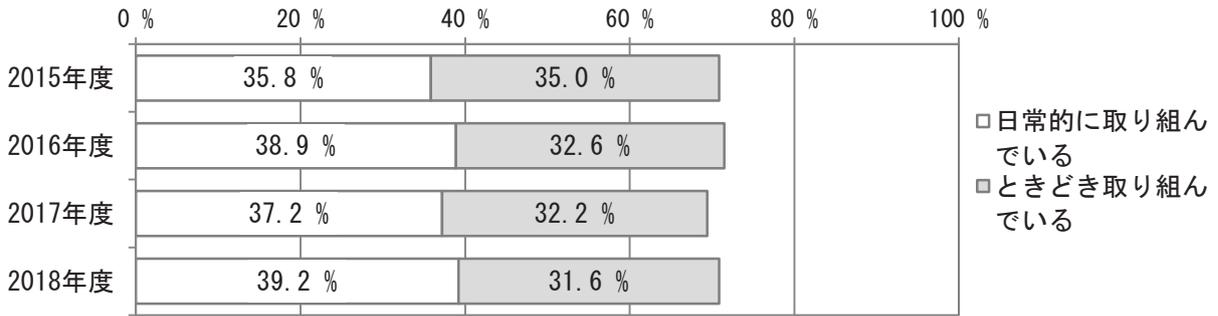
[問7] 仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合（「仕事をしていない・学生である」を除く。）



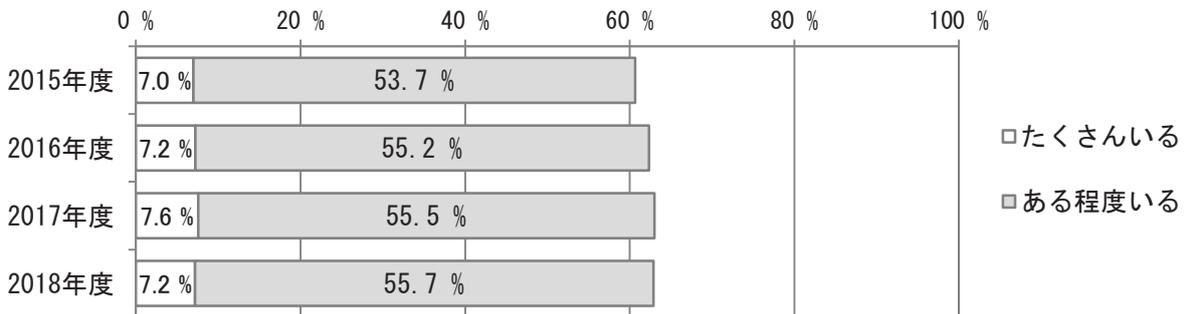
[問8] 希望する「働き方」（正社員、派遣社員、パート、アルバイト、自営など）で働くことができる人の割合（「仕事をしていない・学生である」を除く。）



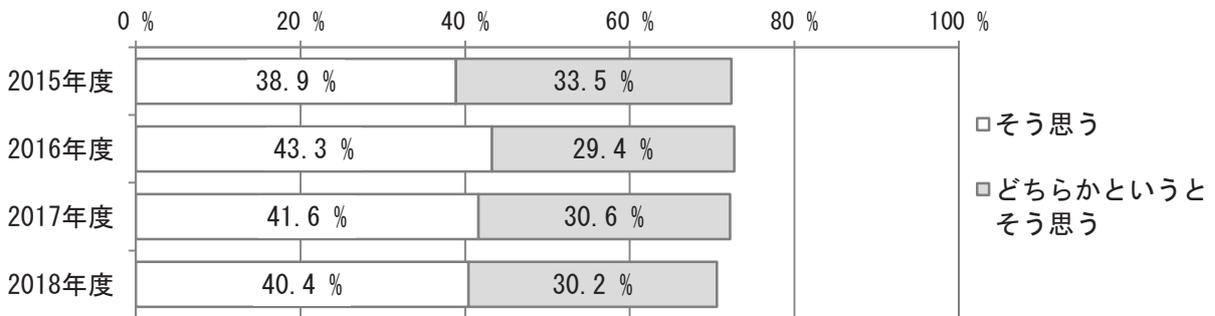
[問 9] 規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合



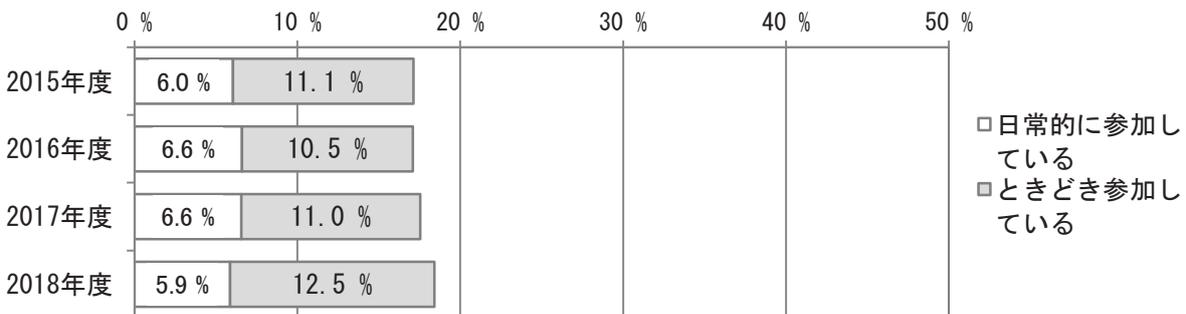
[問 10] 病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合



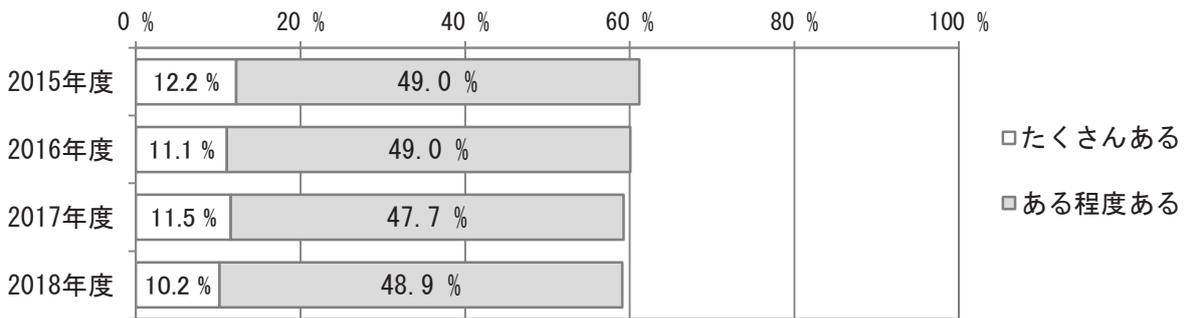
[問 11] 住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段（電車、バス等）が十分に整っていると思う人の割合



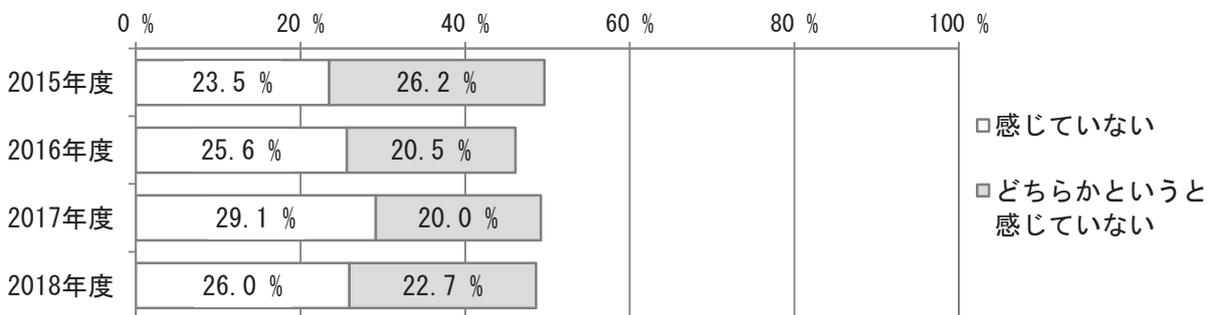
[問 12] 障害のある人とない人がともに交流したり、活動する場に参加している人の割合



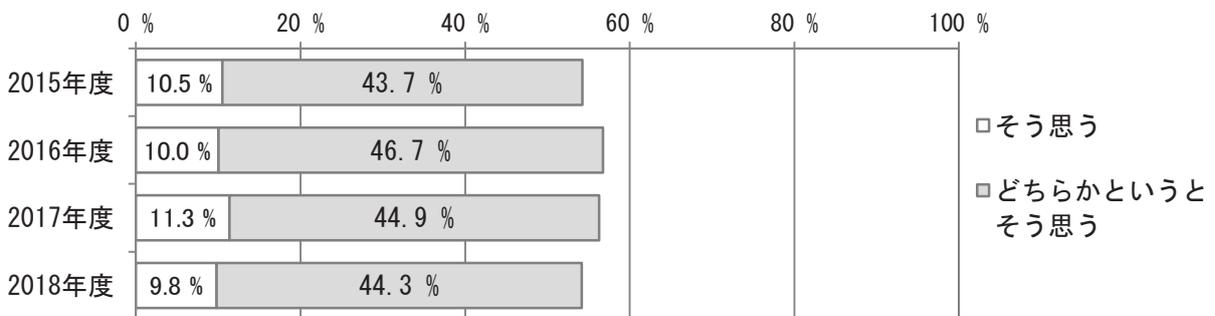
[問 13] 趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合
 (「長寿の安心」に係る質問項目であるため、65歳以上のみを集計)



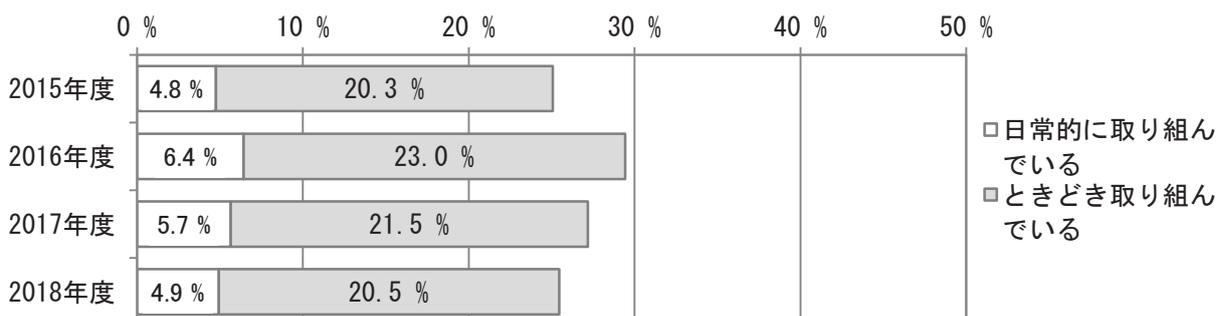
[問 14] 家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合 (「介護を必要とする家族がない」を除く。)



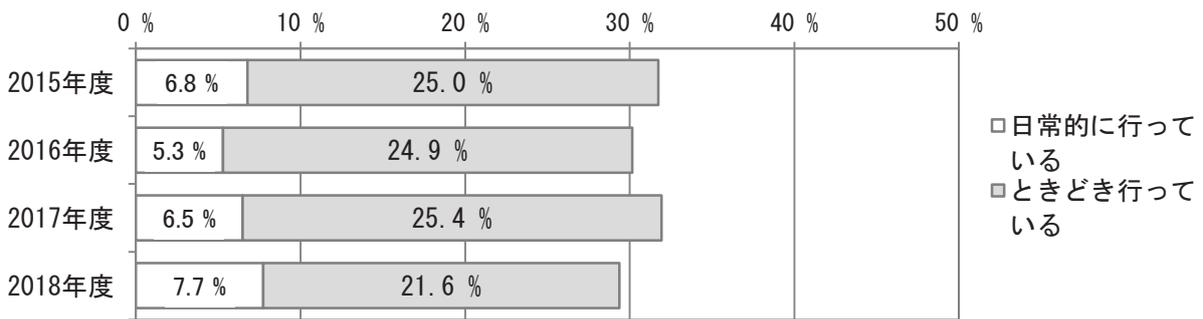
[問 15] 住んでいる地域は、高齢(者)になっても暮らしやすい体制(医療、福祉のほか社会生活全般)が十分に整っていると思う人の割合



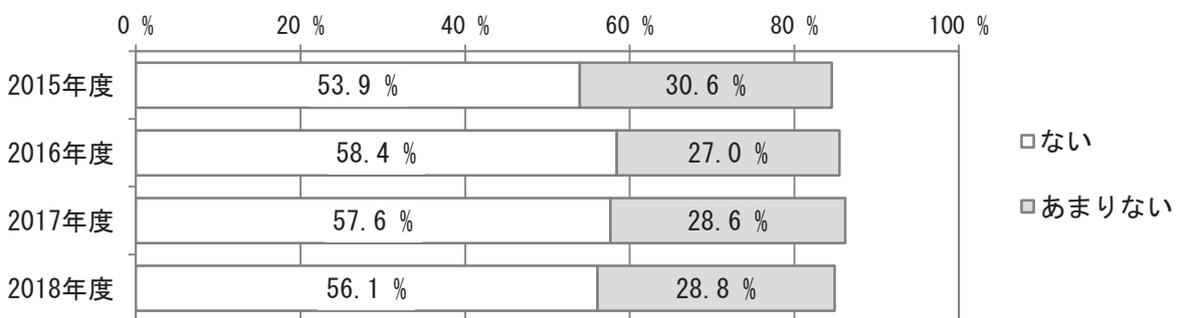
[問 16] 地域の防犯、防災、交通安全活動などに取り組んでいる人の割合



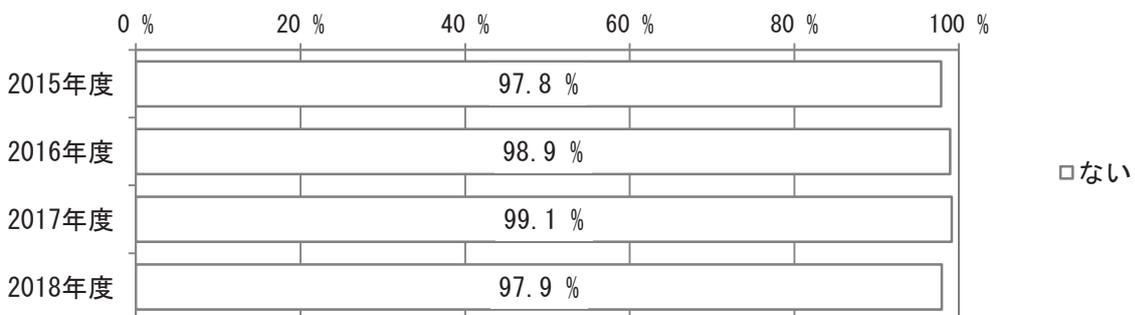
[問 17] 地震や大雨などによる災害に備えて、避難場所の確認や非常持ち出し品の備蓄などを行っている人の割合



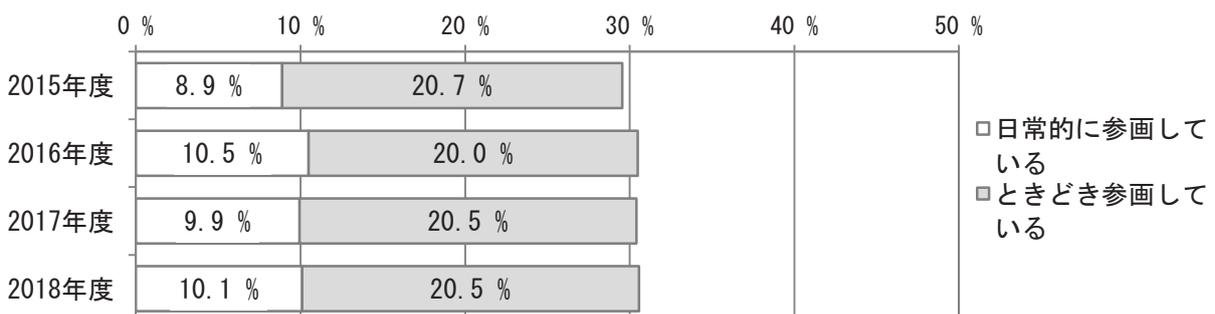
[問 18] 日々の生活の中で、身体状況、性別、その他について、差別、虐待、誹謗中傷などにより不快な思いをしたことのない人の割合



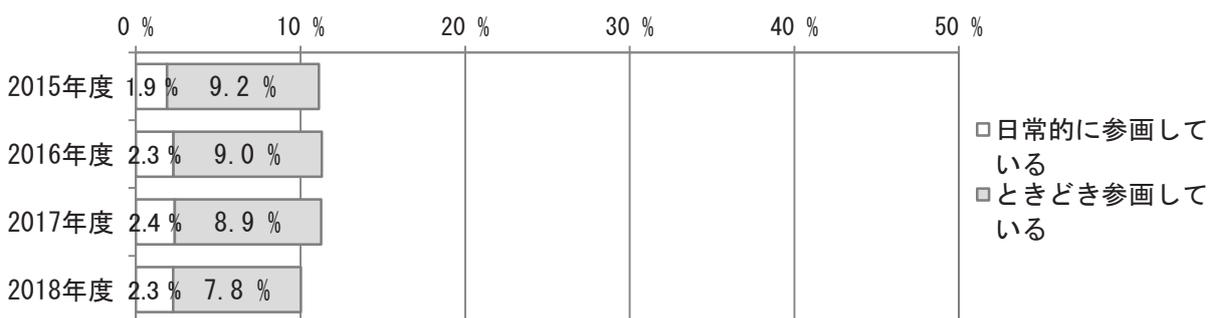
[問 19] この1年の間にインターネット（フェイスブックやツイッターなど）によって、いじめ、誹謗中傷をされたことのない人の割合（「インターネットを使っていない」を除く。）



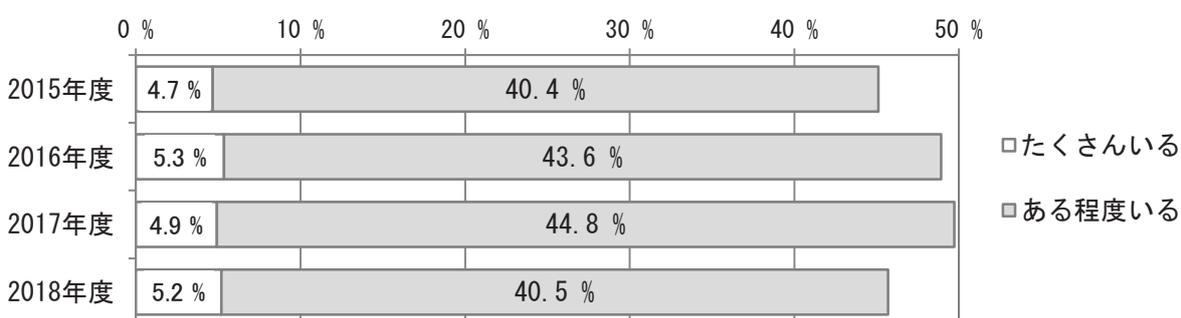
[問 20] 地域のさまざまな課題に対応する団体（自治会、NPO など）の活動に参加している人の割合



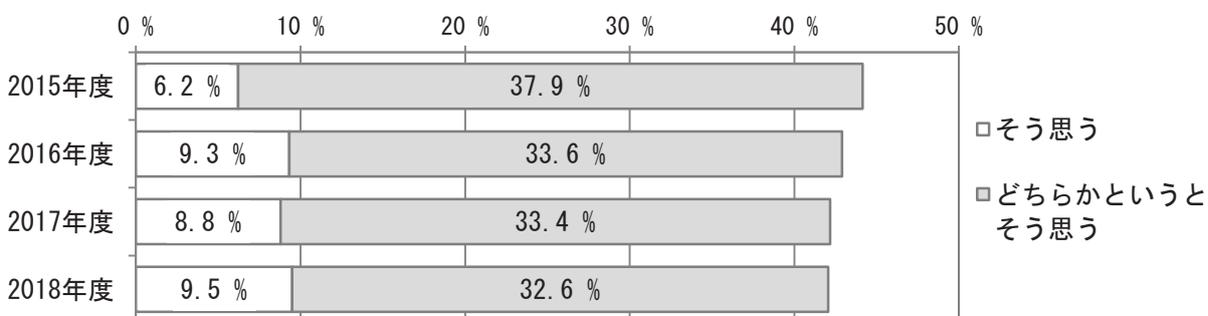
[問 21] 府や市町村の実施する府民協働の取組や、事業提案・パブリックコメントに対する意見提出など、行政のさまざまな取組に何らかの形で参画している人の割合



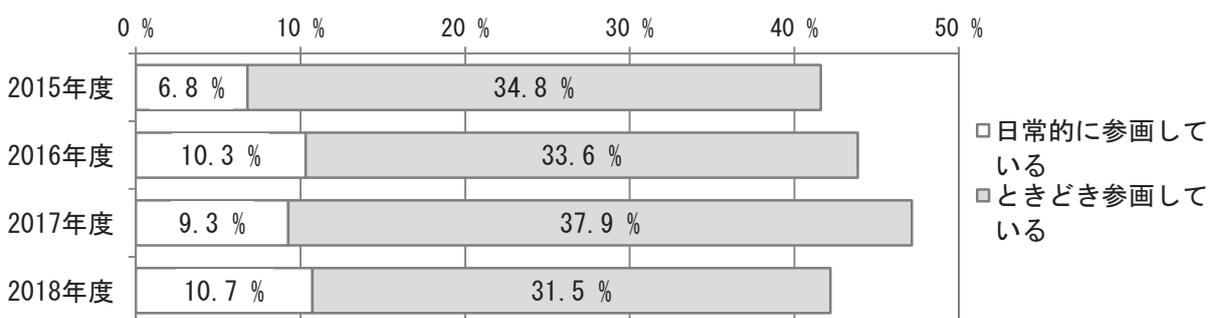
[問 22] 困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合



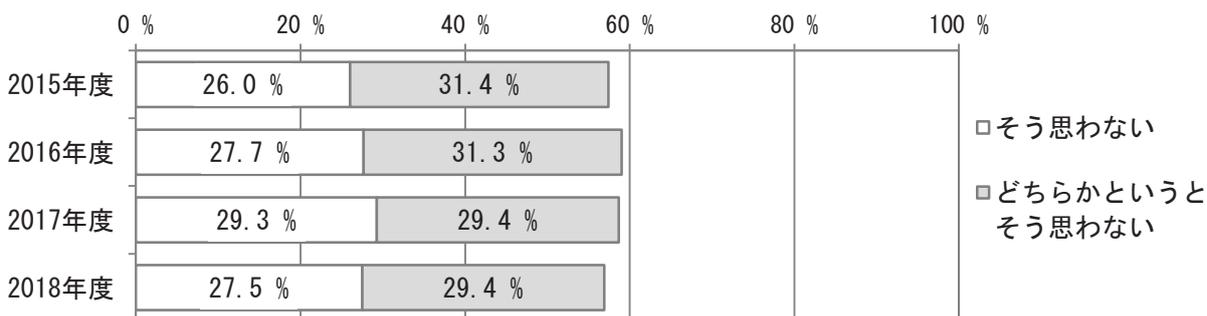
[問 23] 住んでいる地域に、にぎわいや活気があると思う人の割合



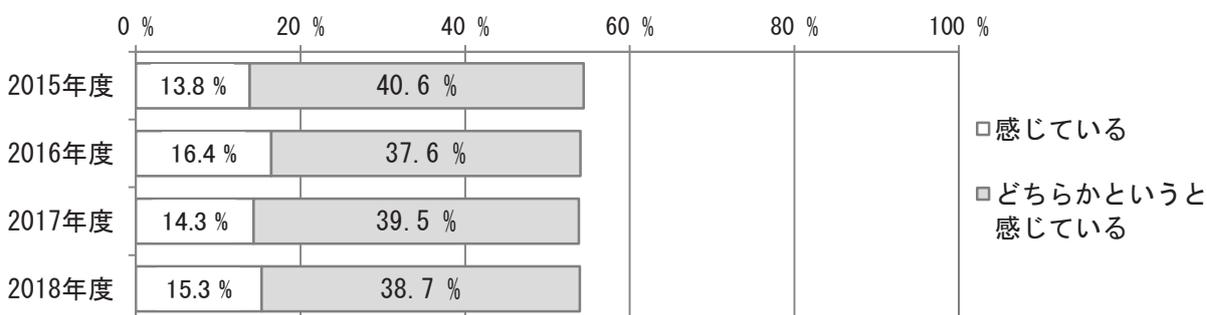
[問 24] 地域の祭りや伝統行事などに参画している人の割合



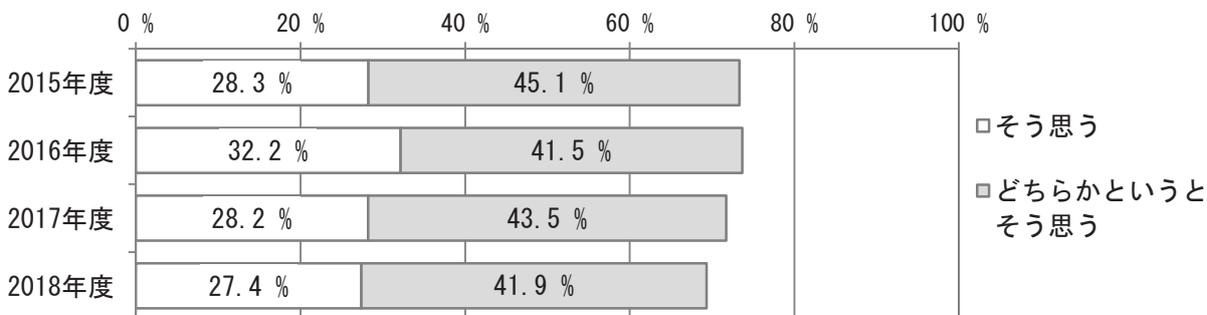
[問 25] 今の社会（家庭・職場・地域社会などのさまざまな場）は、性別によってやりたいことが制限されていると思わない人の割合



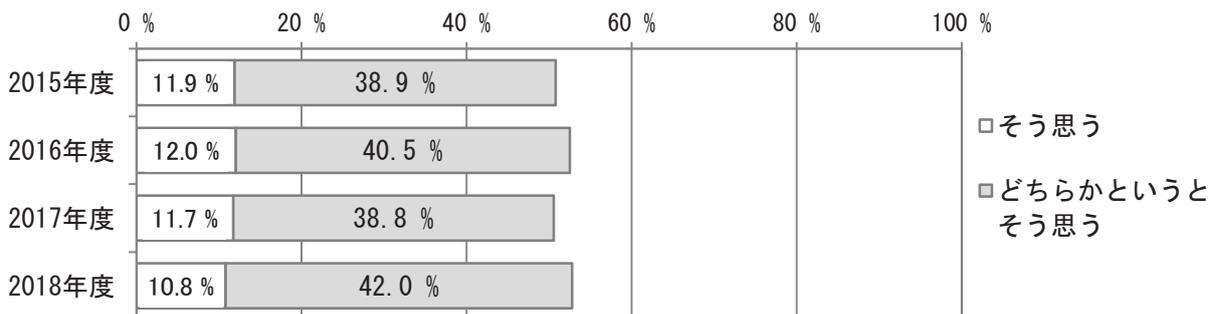
[問 26] 住んでいる地域について、個性や魅力を感じている人の割合



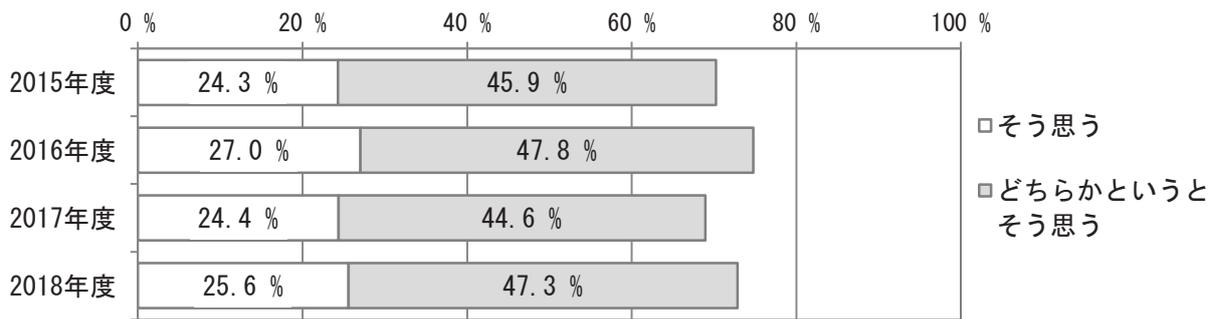
[問 27] 住んでいる地域に、社会生活を送るのに必要な基盤（学校、病院、買い物の場、就業の場などや公共交通機関）が十分に整っていると思う人の割合



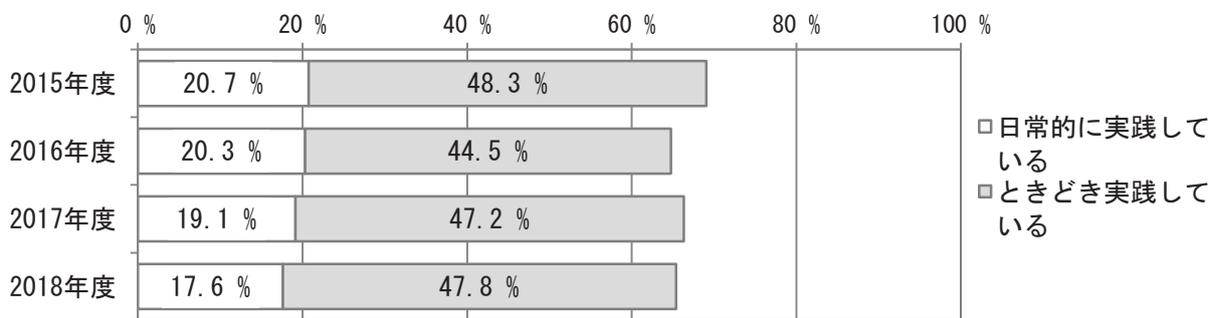
[問 28] 仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合



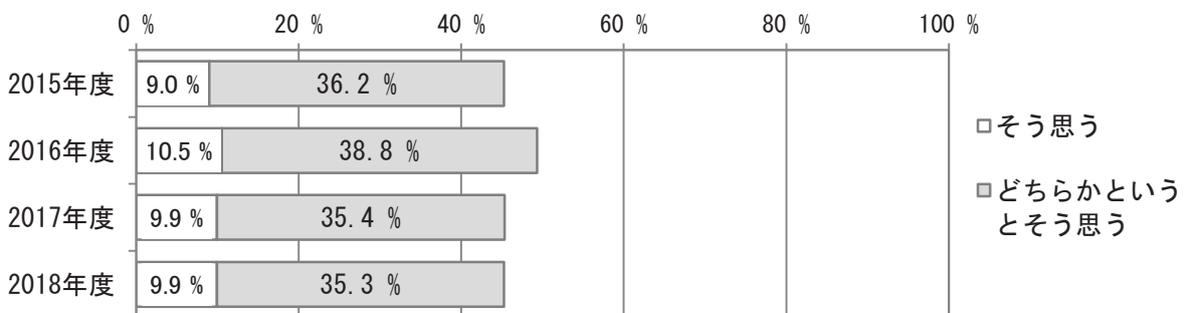
[問 29] 住んでいる地域（市町村）が優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合



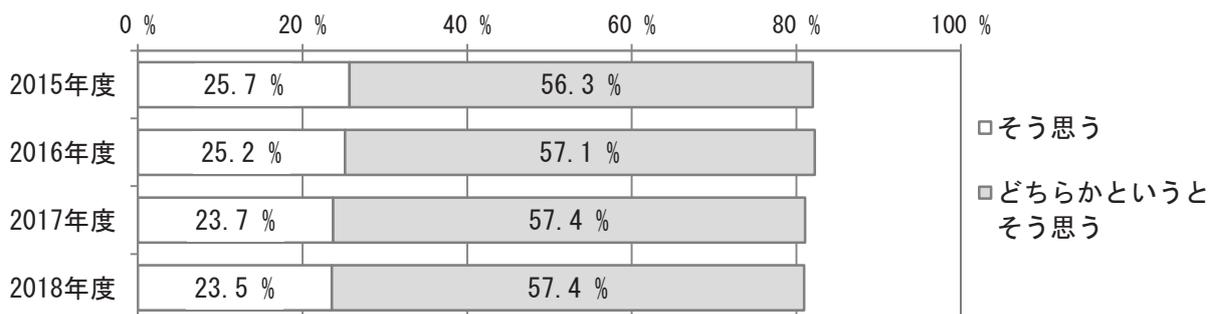
[問 30] 節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合



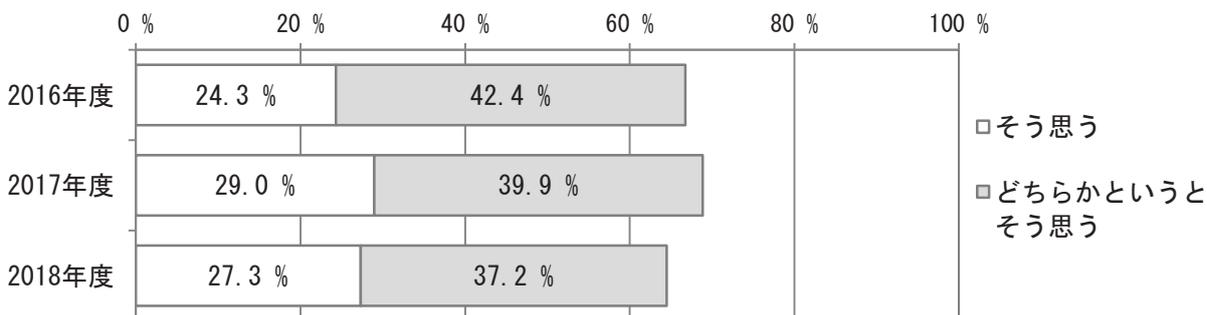
[問 31] 住んでいる地域で、地域の文化・芸術活動が活発に行われていると思う人の割合



[問 32] 京都府では歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合



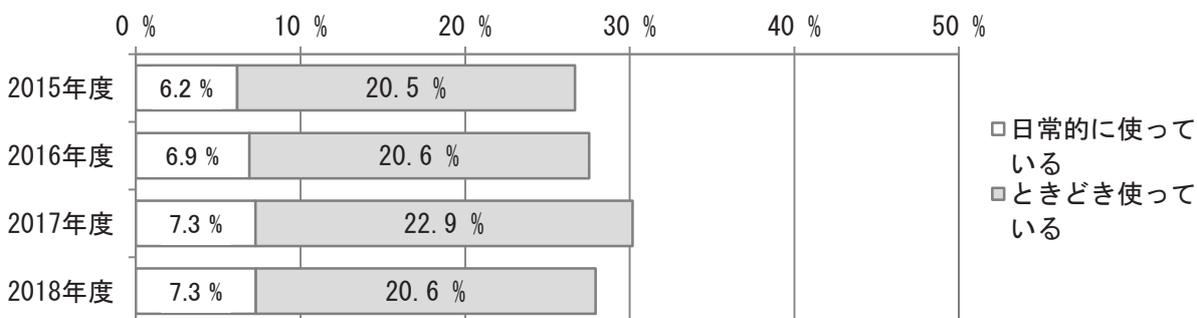
[問 33] 明治以来初めての省庁移転として、文化庁の京都への早期移転を実現することが東京一極集中の是正や日本の文化振興の一助になると思う人の割合（2016年度までの質問を一部修正）



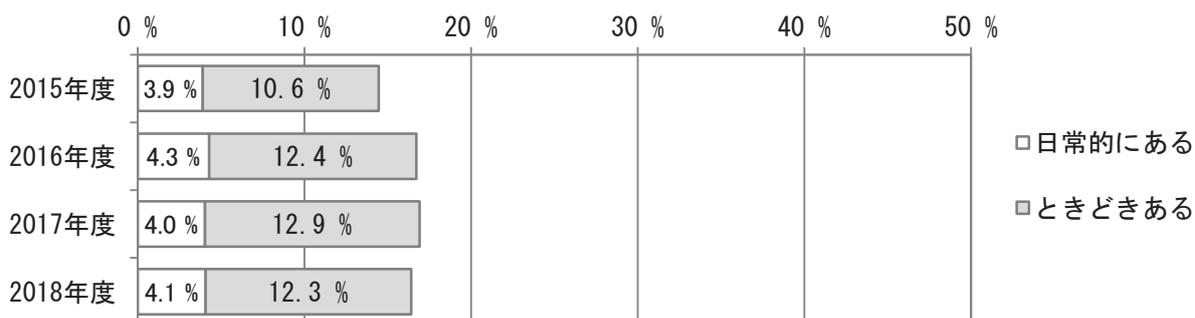
(2016年度)

明治以来初めての省庁移転として、文化庁の全面的な京都移転が決定したことが、東京一極集中の是正や日本の文化振興の一助になると思う人の割合

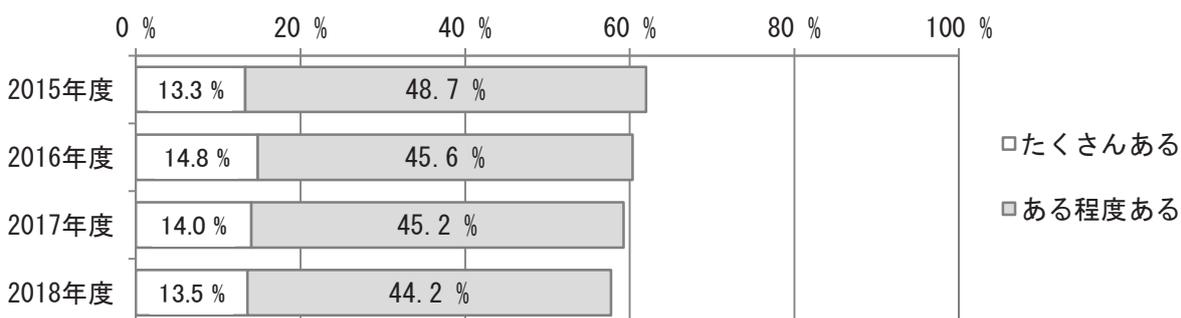
[問 34] 西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼などの伝統工芸品を日常生活で使っている人の割合



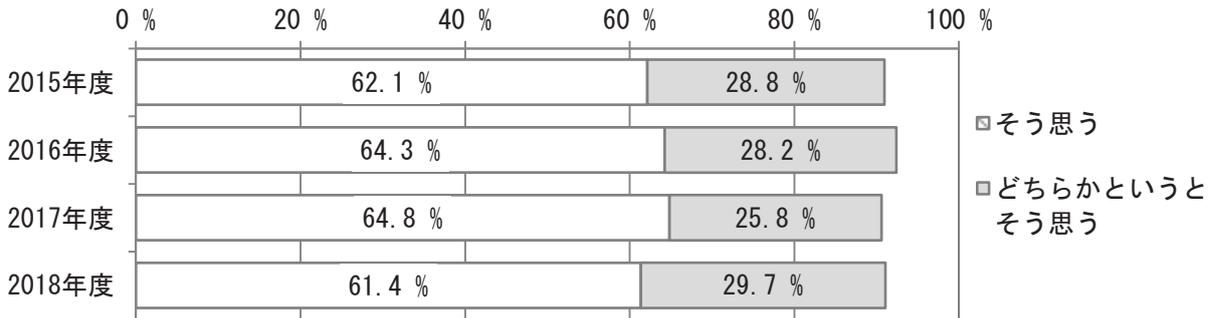
[問 35] 外国人の友人や留学生との交流がある人の割合



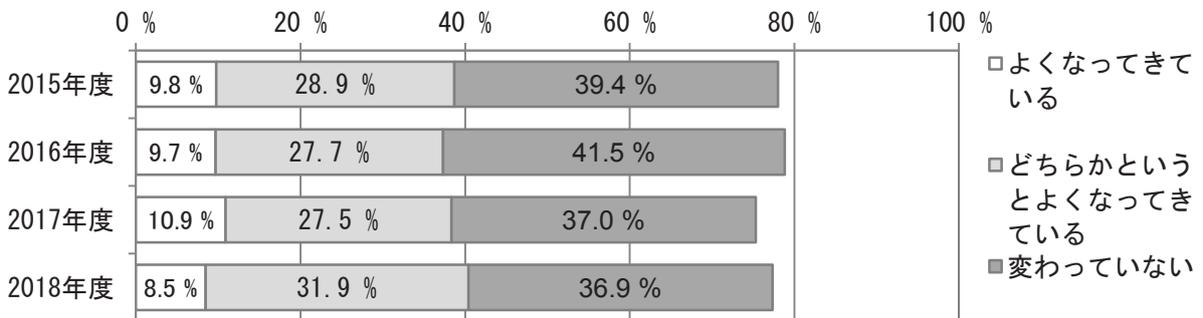
[問 36] 将来かなえたい夢や実現したい目標がある人の割合



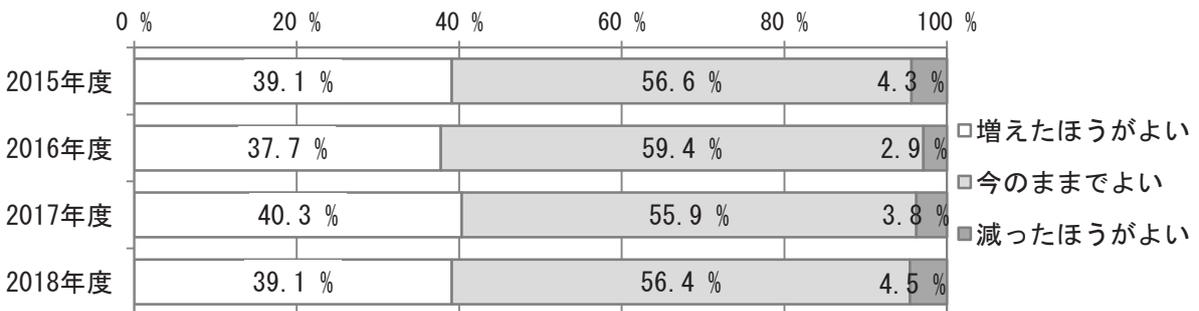
[問 37] これからも京都府に住み続けたいと思う人の割合



[問 38] 住んでいる地域の環境が、以前に比べてよくなってきていると思う人の割合
(質問は「以前に比べてどうなっているか」)



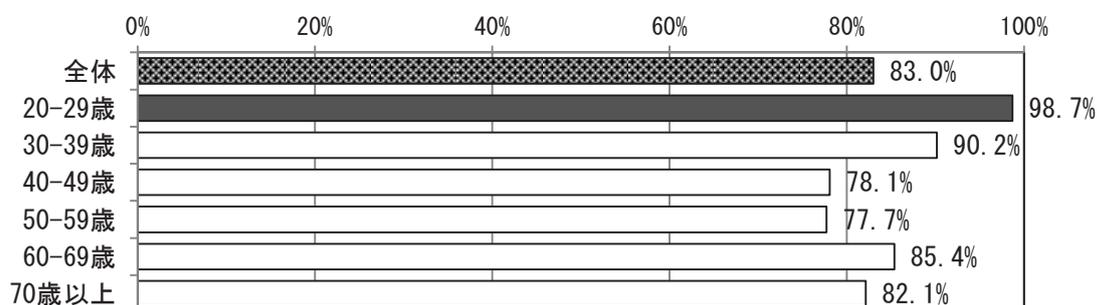
[参考] 住んでいる地域の人口が、今と比べて「増えた方がよい」「今のままでよい」「減った方がよい」と思っている人のそれぞれの割合 (質問は「今と比べてどうなる方がよいと思うか」)



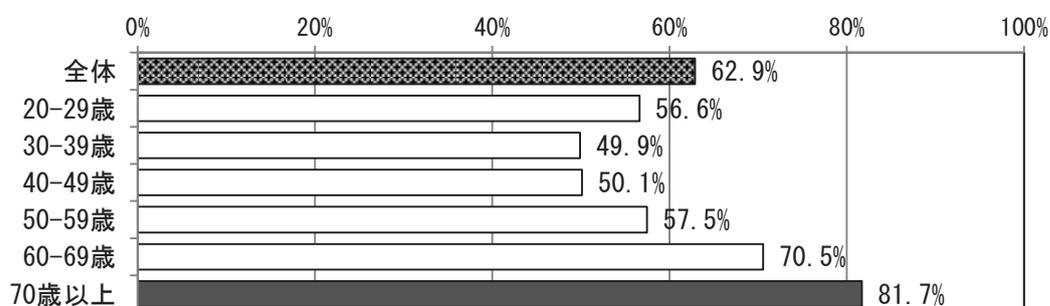
年齢層により集計値に大きな差が認められたもの

年齢層別の集計値のうち、全体集計値と比べて15ポイント以上の差があるものを掲載

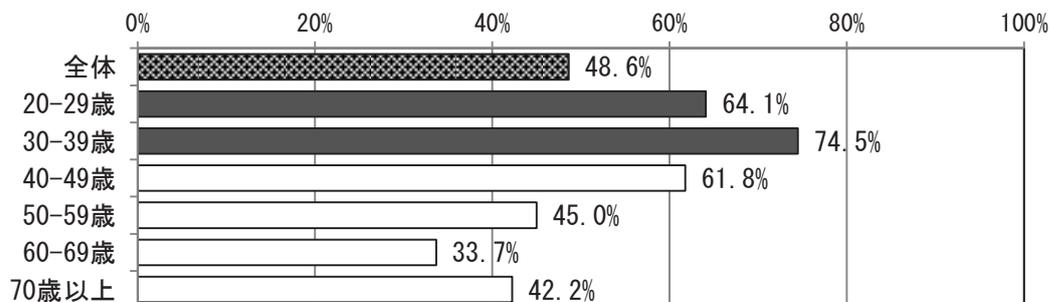
[問 2] 子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合（「子育てをしていない」を除く。）



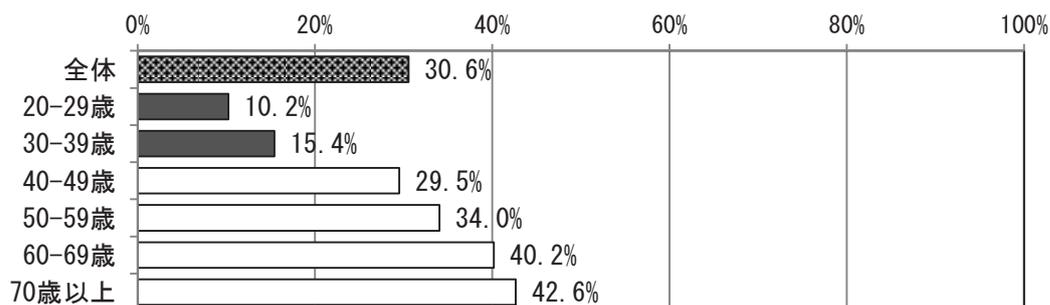
[問 10] 病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合



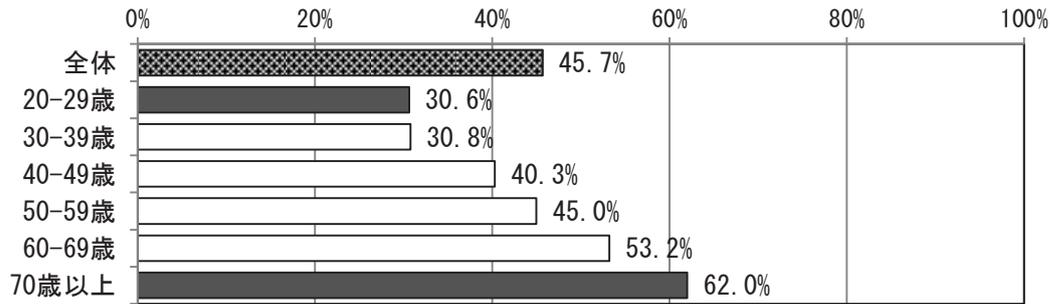
[問 14] 家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合（「介護を必要とする家族がない」を除く。）



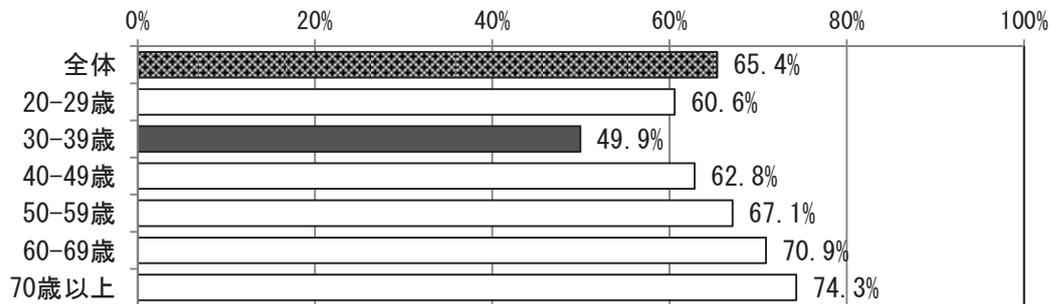
[問 20] 地域のさまざまな課題に対応する団体（自治会、NPO など）の活動に参画している人の割合



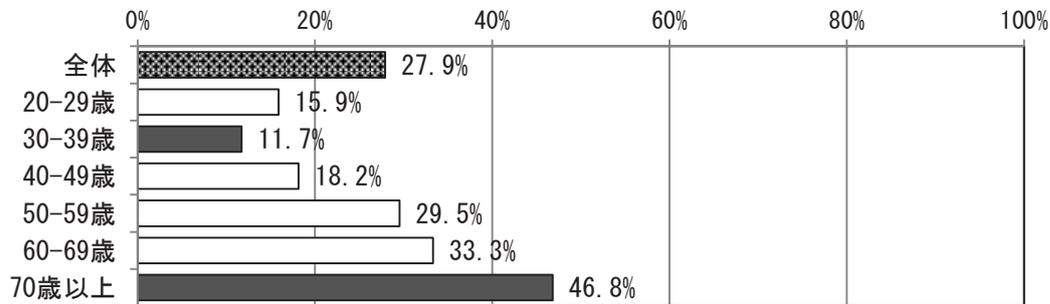
[問 22] 困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合



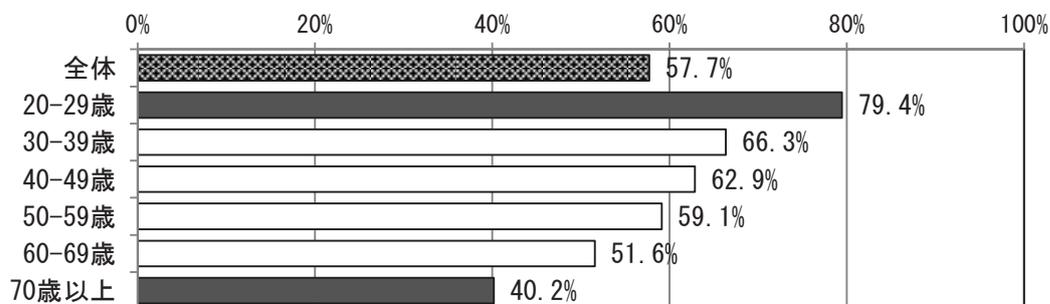
[問 30] 節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合



[問 34] 西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼などの伝統工芸品を日常生活で使っている人の割合



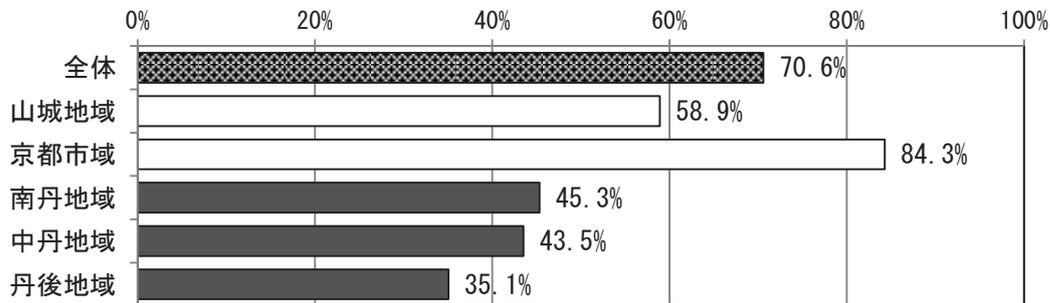
[問 36] 将来かなえたい夢や実現したい目標がある人の割合



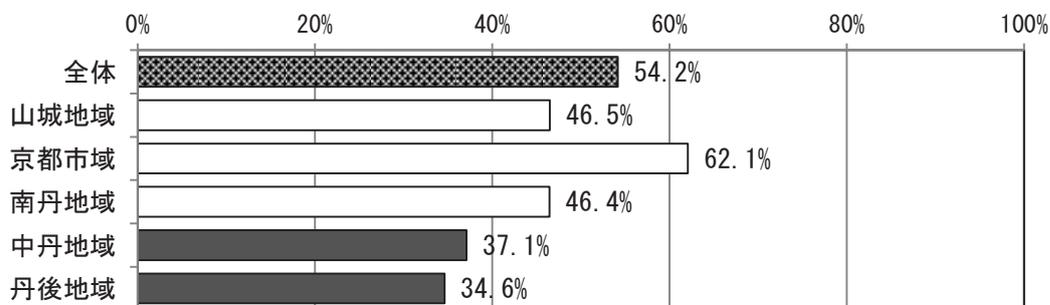
居住する地域により集計値に大きな差が認められたもの

居住する地域別の集計値のうち、全体集計値と比べて15ポイント以上の差があるものを掲載

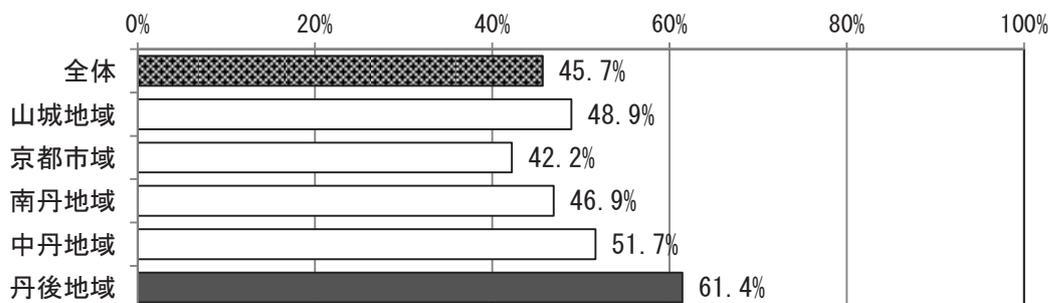
[問 11] 住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段（電車、バス等）が十分に整っていると思う人の割合



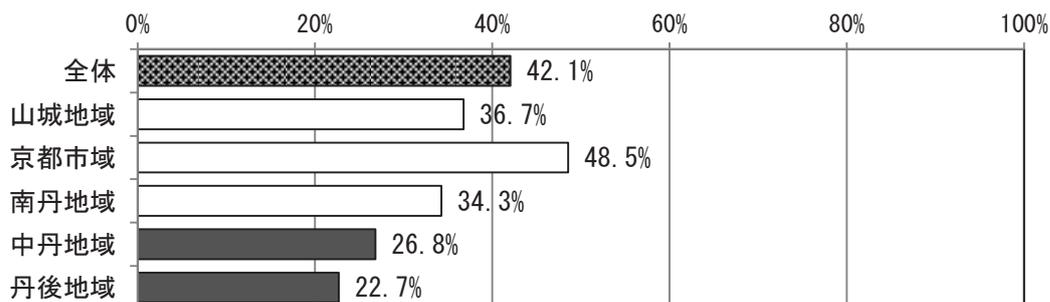
[問 15] 住んでいる地域は、高齢（者）になっても暮らしやすい体制（医療、福祉のほか社会生活全般）が十分に整っていると思う人の割合



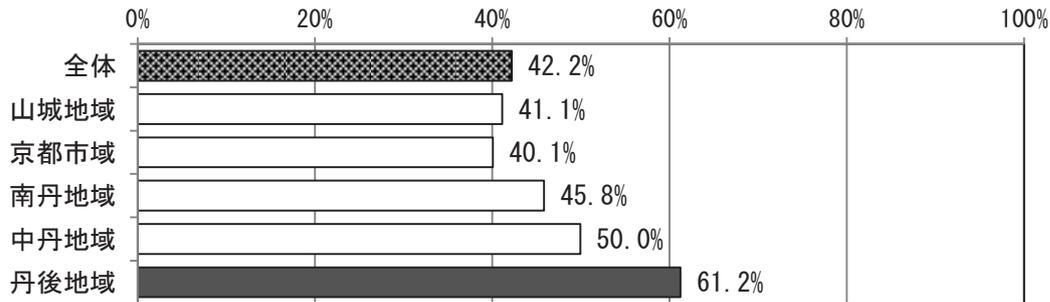
[問 22] 困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合



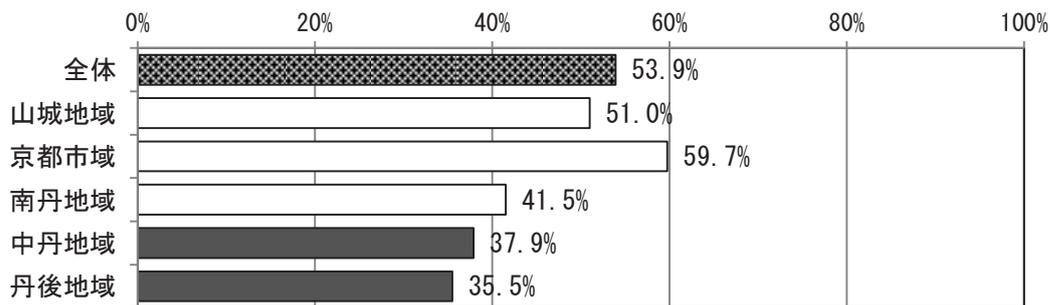
[問 23] 住んでいる地域に、にぎわいや活気があると思う人の割合



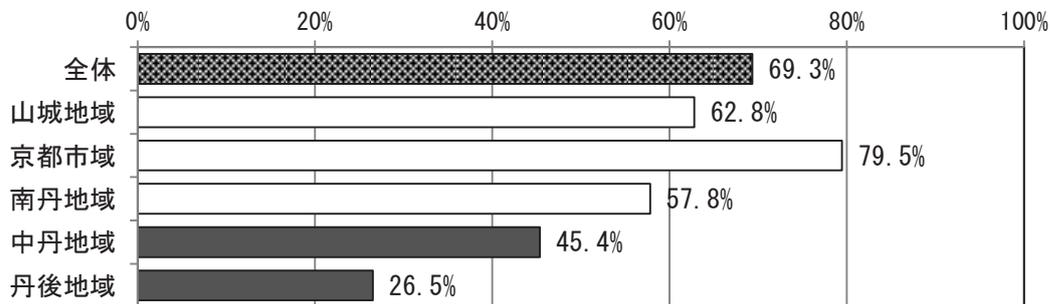
[問 24] 地域の祭りや伝統行事などに参画している人の割合



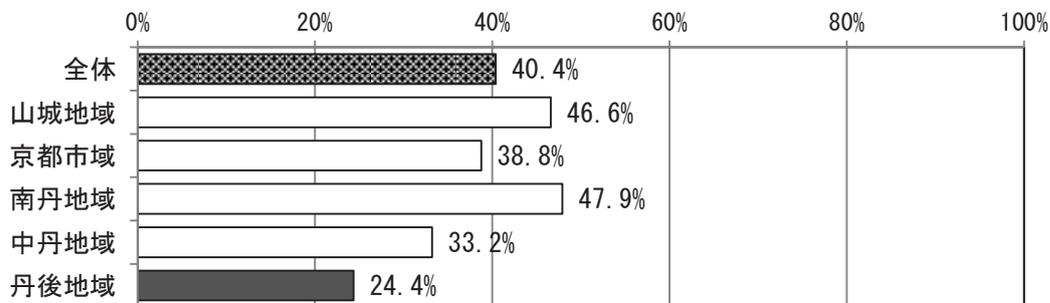
[問 26] 住んでいる地域について、個性や魅力を感じている人の割合



[問 27] 住んでいる地域に、社会生活を送るのに必要な基盤（学校、病院、買い物の場、就業の場などや公共交通機関）が十分に整っていると思う人の割合



[問 38] 住んでいる地域の環境が、以前に比べてよくなってきていると思う人の割合（質問は「以前に比べてどうなっているか」）



※今回調査においては、性別により集計値に大きな差（15ポイント以上の差）が認められたものはなかった。

定住意向等と各質問項目との相関分析

○相関係数は、「なんらかの関係の有無と強弱」を示すものであり、-1から+1までの値をとる。
本調査では、次の基準で相関の有無を示す。

- 1.0 < γ < -0.3 : (負の相関が) ある
- 0.3 < γ < +0.3 : 相関はほとんどない
- +0.3 < γ < +1.0 : (正の相関が) ある

○次の3つの質問項目における肯定的な回答と表中の36の質問項目における肯定的な回答の相関度により、相関性のあるものに○印を付し、相関が強い項目を上位として数字を付した。

- 問36 将来かなえたい夢や実現したい目標があるか
- 問37 これからも京都府に住み続けたいと思うか
- 問38 住んでいる地域の環境は、以前に比べてよくなってきていると思うか

| | 質 問 項 目 | 問 37 | | 問 38 | | 問 39 | |
|----------|---|------------|-----|------------|-----|------------|-----|
| | | γ 値 | 相関性 | γ 値 | 相関性 | γ 値 | 相関性 |
| 府民安心の再構築 | 1 子育てに喜びややりがいを感じている親の割合 | 0.293 | | 0.358 | ○4 | 0.060 | |
| | 2 子育ての悩みを気軽に相談できる人がいる親の割合 | 0.305 | ○8 | 0.217 | | 0.170 | |
| | 3 住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合 | 0.050 | | 0.377 | ○2 | 0.363 | ○1 |
| | 4 子どもが、将来に夢を持っていると思う親の割合 | 0.301 | ○9 | 0.157 | | 0.084 | |
| | 5 子どもの有無にかかわらず、子どもの社会体験活動への協力など、何らかの形で子どもに関する活動に参画している人の割合 | 0.317 | ○7 | 0.144 | | 0.088 | |
| | 6 キャリアアップや趣味に関する生涯学習等に取り組んでいる人の割合 | 0.465 | ○2 | 0.130 | | 0.043 | |
| | 7 仕事にやりがいや生きがいを感じている人の割合 | 0.449 | ○4 | 0.239 | | 0.142 | |
| | 8 希望する「働き方」(正社員、派遣社員、パート、アルバイト、自営など)で働くことができている人の割合 | 0.203 | | 0.211 | | 0.169 | |
| | 9 規則正しい食事や運動など、健康づくりに取り組んでいる人の割合 | 0.211 | | 0.221 | | 0.129 | |
| | 10 病気やけがで困ったときに気軽に相談できるかかりつけ医がいる人の割合 | 0.118 | | 0.323 | ○7 | 0.200 | |
| | 11 住んでいる地域に、最寄りの診療機関またはかかりつけ医へ行くための交通手段(電車、バス等)が十分に整っていると思う人の割合 | 0.019 | | 0.249 | | 0.210 | |
| | 12 障害のある人とない人がともに交流したり、活動する場に参加している人の割合 | 0.294 | | 0.100 | | 0.068 | |
| | 13 趣味や地域貢献活動など、やりがいや生きがいを感じるものがある高齢者の割合 | 0.530 | ○1 | 0.242 | | 0.118 | |
| | 14 家族の介護に負担や苦痛を感じていない家族介護者の割合 | 0.076 | | 0.131 | | 0.012 | |
| | 15 住んでいる地域は、高齢(者)になっても暮らしやすい体制(医療、福祉のほか社会生活全般)が十分に整っていると思う人の割合 | 0.097 | | 0.283 | | 0.298 | |
| | 16 地域の防犯、防災、交通安全活動などに取り組んでいる人の割合 | 0.193 | | 0.206 | | 0.077 | |
| | 17 地震や大雨などによる災害に備えて、避難場所の確認や非常持ち出し品の備蓄などを行っている人の割合 | 0.187 | | 0.168 | | 0.096 | |

| | 質 問 項 目 | 問 37 | | 問 38 | | 問 39 | | |
|----|----------------------------------|---|--------|-------|--------|--------|--------|----|
| | | γ 値 | 相関性 | γ 値 | 相関性 | γ 値 | 相関性 | |
| 18 | 地域共生の実現 | 日々の生活の中で、身体の状況、性別、その他について、差別、虐待、誹謗中傷などにより不快な思いをしたことのない人の割合 | -0.084 | | 0.191 | | 0.022 | |
| 19 | | この1年の間にインターネット（フェイスブックやツイッターなど）によって、いじめ、誹謗中傷をされたことのない人の割合 | 0.078 | | -0.431 | ○1 | -0.046 | |
| 20 | | 地域のさまざまな課題に対応する団体（自治会、NPOなど）の活動に参画している人の割合 | 0.143 | | 0.204 | | 0.052 | |
| 21 | | 府や市町村の実施する府民協働の取組や、事業提案・パブリックコメントに対する意見提出など、行政のさまざまな取組に何らかの形で参画している人の割合 | 0.183 | | 0.052 | | 0.020 | |
| 22 | | 困ったときに気軽に頼れるご近所さんがいる人の割合 | 0.179 | | 0.318 | ○8 | 0.125 | |
| 23 | | 住んでいる地域に、にぎわいや活気があると思う人の割合 | 0.256 | | 0.268 | | 0.299 | |
| 24 | | 地域の祭りや伝統行事などに参画している人の割合 | 0.251 | | 0.280 | | 0.068 | |
| 25 | | 今の社会（家庭・職場・地域社会などのさまざまな場）は、性別によってやりたいことが制限されていると思わない人の割合 | -0.077 | | 0.081 | | -0.083 | |
| 26 | | 住んでいる地域（市町村）について、個性や魅力を感じている人の割合 | 0.379 | ○6 | 0.368 | ○3 | 0.313 | ○2 |
| 27 | | 住んでいる地域に、社会生活を送るのに必要な基盤（学校、病院、買い物の場、就業の場などや公共交通機関）が十分に整っていると思う人の割合 | 0.062 | | 0.326 | ○6 | 0.279 | |
| 28 | 京都力の発揮 | 仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合 | 0.419 | ○5 | 0.248 | | 0.197 | |
| 29 | | 住んでいる地域（市町村）が優れたまちなみや景観、自然環境に恵まれていると思う人の割合 | 0.258 | | 0.357 | ○5 | 0.251 | |
| 30 | | 節電や公共交通機関の優先利用、環境負荷の少ない商品の優先購入といったエコな暮らし方を実践している人の割合 | 0.167 | | 0.168 | | 0.028 | |
| 31 | | 住んでいる地域で、地域の文化・芸術活動が活発に行われていると思う人の割合 | 0.229 | | 0.220 | | 0.193 | |
| 32 | | 京都府では歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合 | 0.166 | | 0.220 | | 0.245 | |
| 33 | | 明治以来初めての省庁移転として、文化庁の全面的な京都移転が決定したことが、東京一極集中の是正や日本の文化振興の一助になると思う人の割合 | 0.152 | | 0.263 | | 0.153 | |
| 34 | | 西陣織や丹後ちりめん、京焼・清水焼などの伝統工芸品を日常生活で使っている人の割合 | 0.141 | | 0.245 | | -0.001 | |
| 35 | | 外国人の友人や留学生との交流がある人の割合 | 0.456 | ○3 | 0.049 | | -0.012 | |
| 参考 | 住んでいる地域の人口は、今と比べて増えたほうがよいと思う人の割合 | 0.089 | | 0.127 | | -0.090 | | |

「京都府民の意識調査」の概要

1 調査対象及びその抽出の考え方

(1) 調査対象

京都府内在住の満20歳以上の府民4,900人（無作為抽出による）

(2) 抽出に当たっての考え方

京都府の人口構成（平成27年実施の国勢調査による）に比例するように3,000人を市町村別、性別、年齢層別に配分。更に、抽出数が少ないことによって調査精度が低下することを防ぐため、亀岡市以北の市町に1,100人、向日市、長岡京市、京田辺市、木津川市並びに乙訓郡及び相楽郡の町村に800人を人口構成に比例させて追加配分。

2 調査方法

郵送による無記名アンケート形式（謝礼、督促等なし）

3 調査時期

6月（ただし、2012年度調査は、2013年1月に実施）

4 回収状況

| 調査年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 発送数 | 4,100通 | 4,100通 | 4,100通 | 4,100通 | 4,900通 | 4,900通 | 4,900通 |
| 回収数 | 1,800通 | 1,636通 | 1,619通 | 1,639通 | 2,061通 | 2,090通 | 2,018 |
| 回収率※ | 44.4% | 40.3% | 40.0% | 40.6% | 42.4% | 43.1% | 41.7% |
| 宛先不明による送達不能 | 48通 | 43通 | 56通 | 62通 | 43通 | 56通 | 58通 |

※ 回収率は、宛先不明による送達不能数を除いて算出

5 その他

回答の集計に当たっては、国勢調査の人口構成（市町村別、性別、年齢階層別）と比例するように、補正を行っている。